

今年を飛躍の年に



願、『飛躍の年、辰年!』

自分の生活を見直し、よりよい自分を作り上げ、この田老、宮古のために働ける人材になるべく努力を続ける、平成二十四年をそんな飛躍の年にしたいものです。

職員も一丸となって生徒を支えて行きますので、どうか本年も宮古北高校を温かく見守りいただきたくことをお願いし、年頭のご挨拶いたします。

校長 平賀 信二

『みやきた新聞』は、地域の方々に宮古北高等学校をもっと知っていただくために、昨年末から発行を開始した情報発信紙です。厳しい現状にも挫けず、今まで以上に勉強や様々な行事でイキイキと頑張っている生徒の姿をご覧ください。そして、今後も温かいご協力、ご支援をよろしく願っています。



平成24年1月26日

1月号

発行：宮古北高等学校

生徒会 運動 あいさつ



本校昇降口でのあいさつ運動の様子

生徒会副会長である一年A組山崎将洋君の提案で、今年度から新たにあいさつ運動を三回実施しました。第一回は、十一月一日〜八日まで本校昇降口で行いました。第二回は、十二月十三日〜十六日まで本校昇降口と宮古駅前で行い、生徒会執行部以外の有志にも協力してもらい行いました。第三回は一月十七日〜十九日まで、『宮古に元気とぬくもりを』というテーマで実施し、宮古駅ではあいさつと同時に、小型ホッカイロにメッセージを記入し、一般の方に配付しました。先生方にもご協力いただき、学校全体が明るくなったように感じます。生徒数は減少していますが、生徒一人一人が、ひいては学校が元気になるように、来年度も継続していきたいと思えます。



運動の中心、生徒会執行部



宮古駅前でのあいさつ運動の様子

センター試験 励み 会



受験生を代表して決意を述べる伊藤さん

平成二十四年度大学入試センター試験実施前日の一月十三日(金)放課後、本校社会科教室において、センター試験激励会が開催されました。センター試験を受験するのは、大学進学希望生徒十一名です。受験生は、校長先生から「三年間で学んだことのうち何ができて何ができないかを知るために、このセンター試験は大変有効だと思います。全国の生徒が受けるテストであり、自分の全国での位置を知ることができます。自分の全国的な学力を知る経験はきつと上級学校に行っても役に立つものと思います。上級学校に進学しても省みて頑張ってください」という激励のお言葉をいただきました。いままで、課外等でお世話になっている三学年 進路指導の先生を代表して柴内先生が「三年間の総決算、全力をつくして欲しい。当日は試験場の控室に待機しているので何かあっても安心して受験して」と激励した。

受験生を代表して三年A組の伊東優佳さんが「進路目標を達成できるよう頑張ってください。受験してきます。」と決意を述べた。

二月の予定

- | | |
|---------|------------------|
| 一日(水) | 臨時生徒総会 |
| 七日(火) | 三年出校日① |
| 九日(木) | 一・二年后期末考査(〜十四日) |
| 十五日(水) | 三年出校日② |
| | 夢のある講演会(五校時 LHR) |
| | 応援団リーダー研修(〜十七日) |
| | 高校生対象法律講座(三年) |
| 二十二日(水) | 三年出校日③ |
| 二十九日(水) | 三年出校日④ |



朗読を行う佐々木さん(右)と牧野さん(左)



イベントに参加した生徒達



紙芝居『つなみ』の作者、田畑ヨシさん(左)



紙芝居朗読、会場の様子

地域活動参加

田老元気なまちづくりプロジェクト

『明日へ向かって』

紙芝居『つなみ』朗読
この体験を世界へ語り継ぐ

十二月十七日(土)にグリーンピア三陸みやこにて復興支援イベント「田老元気なまちづくりプロジェクト」が行われました。そのイベントの中で、本校一年生の佐々木郁香(ささきふみか)さんと牧野利帆(まきのりほ)さんが、紙芝居『つなみ』(田畑ヨシさん作)を英語で朗読しました。この紙芝居は津波の体験を世界に向けて語り継いでいくための活動の一環です。大勢の観客の前で読むという事で二人とも緊張したようでしたが、凛とした声で最後まで読みきってくれました。

二学年

～夢を叶えるために～

就職講座

冬季休業中の十二月二十六日(月)～二十七日(火)の二日間、本校視聴覚教室において、第二学年冬季就職講座が開催されました。参加したのはビジネスコースの二年B組の十五名です。



真剣に自己分析に取り組む生徒達

講師の先生は、盛岡公務員法律専門学校
の松島理香子先生です。最初に講師の先生から職業観について講義を受け、続いてチェックシートに記入しながら自己分析を行い、自己PRのプレゼンテーションを体験しました。最後に自己の課題を発見し、進路目標の設定と今後の取り組みについて努力して行くことを確認しました。

冬季学習合宿

正月気分もさめない一月五日(木)～七日(土)の三日間、二年A組十七名を対象とした冬季学習合宿が本校セミナーハウス北星館において実施されました。この合宿は、日常や冬休み中の家庭学習の充実と既習事項を深めること、来年度に迎える大学入試等への進路意識の醸成を図るものです。初日、副担任の廣瀬先生から、今後一年間の進路に関する予定と心構えや入試内容の把握の重要性、自らが取り組む家庭学習のプランニングについてガイダンスを受けた後、英・数・国を中心に学習を行いました。中には、センター試験の過去問題などの大学入試問題も含まれており充実した内容でした。その他、合宿中の食事、掃除など身の回りの事は自分たちではやらなければなりませんでしたが、有志の保護者の方々に食事のお手伝いを賜り、生徒達は学習に集中することができました。



『数学』の授業の様子



夜の学習の様子

一学年

～ねらいを定めて～

一月六日(金)、十日(月)、十一日(火)の三日間、一学年冬季課外授業が実施されました。これは、基礎学力の定着と応用力の養成を目的としたものです。一年A組二十七名が受講しました。

三日間の取り組みから各自の進路目標に向けて実力養成を図れるよう、年頭から気合いを入れて全員が学習しました。何かと生活が乱れがちな長期休業中ですが、この課外授業を受けることで、しっかりとした学習習慣を身につけることができたと思われまます。

来年度は二年生に進級し、進学コース、ビジネスコースへと各自の進路目標に向けて、更に一歩を踏み出さなければなりません。この冬はそのための前哨戦と成ったようです。



冬季課外授業の様子、『英語』の授業に集中する二十七名

この新聞の記事以外の、宮古北高校に関する情報については公式サイトをご覧ください。アドレスは以下の通りです。

◎岩手県立宮古北高等学校 公式サイト

アドレス <http://www2.iwate-ed.jp/myn-h/index.html>